

10月 図書館カレンダー  
CALENDAR

1 火
2 水
3 木
4 金 <b>展示</b> 知っておきたいお金の話 ▶ 10月19日まで
5 土
6 日
7 月 休館日
8 火
9 水
10 木 16:00 ~ 英語のおはなし会
11 金
12 土 14:00 ~ 楽しいおはなし会
13 日
14 月
15 火
16 水
17 木
18 金
19 土 10:00 ~ 絵本読み聞かせ講座
20 日 臨時休館日 (かもしかハーフマラソンのため)
21 月 休館日
22 火 休館日
23 水 <b>展示</b> かもしかハーフマラソン ポスター・川柳展示 ▶ 10月27日まで
24 木
25 金
26 土 14:00 ~ 楽しいおはなし会
27 日
28 月 休館日
29 火
30 水
31 木



第73回 読書週間

標語

「おかえり、<sup>しおり</sup>菜の場所で待ってるよ」

今年も秋の読書スタンプラリーを開催します。毎週土曜日に発表するテーマの本を読んだ方には、スタンプを押します。6個のスタンプでプレゼントを差し上げます。

受付 10月19日から図書館窓口で受付

定員 中学生以上70名 小学生以下100名



絵本読み聞かせ講座  
「絵本でつなぐ心とココロ」

▶ 10月19日 10:00 ~ 11:30

小さなお子さんのいる方、読み聞かせのコツや絵本の選び方を学んでみませんか。



講師  
朗読アーティスト  
松岡由香さん

新着図書から



『わたしも、昔は子どもでした。』

▶ 『子どものしあわせ』編集部 / 編  
▶ かもがわ出版 (281/ワ)  
本書は月刊誌『子どものしあわせ』の巻頭インタビュー「私を育ててくれた人たち」を本としてまとめたものです。さまざまな分野で活躍している17名の大人たちが自身の言葉で、子ども時代の思い出と「子どもにとって本当に大切なこと」を語っています。

一般書



『十四歳日和』

▶ 水野瑠見 / 著  
▶ 講談社 (J 913/ミ)  
「本当の自分を探しに行く！」をテーマに14歳の少女たちの1年間を描いた作品集です。「ボーダレスガール」「夏色プール」「十四歳エスケープ」「星光る」の4つの作品が収録され、主人公たちの心情が丁寧に表現されています。

ティーンズ



『読む喜びをすべての人に』

▶ 金治直美 / 文  
▶ 佼成出版社 (289/ホ)  
5歳で失明した本間さんは成長するにつれ、自分の力で本が読みたいと願うようになります。そして13歳の時に入学した盲学校で「点字」と出会い、衝撃を受けます。本に対する情熱と決して諦めない精神で日本点字図書館を創った本間一夫さんの伝記です。

児童書

郷土史・風俗

第67回 伊能忠敬と菰野

測量家 伊能忠敬

日本ではじめて正確な地図を作った天文学者、測量家として有名な伊能忠敬は、延享2年(1745)に千葉県九十九里町に生まれました。幼少の時から経書、医学、数学を学び、17歳のとき佐原の豪商伊能家の養子に入り、天明3年(1783)に佐原の名主を命ぜられ、自家の蔵米を放出して窮民を救いました。寛政7年(1795)、家を長男に譲り江戸に出て深川に居住し、幕府の天文方高橋至時に天文学、測量術を学びました。

55歳のとき江戸を出て東北、北海道を測量して地図を作製しました。文化元年(1804)に日本の東部の地図をまとめて將軍に上呈、閲覧をうけ、このとき幕府の天文測量方に登用され、以後は天下の御用測量方として全国測量を目標に歩きはじめました。

菰野の測量

忠敬は日本全土の測量を進め文化11年(1814)に第二次九州測量を終え、姫路で正月を迎えました。69歳になった忠敬は中国地方内陸部を測量して、京都から東海道を通り津から亀山へ来て、脇街道の巡見道へ入りしました。3月18日、亀山城下を出発して伊舟村に入り、その日は養泉寺に宿泊して、翌19日は桜村、宿野峠から金溪川を渡り、東菰野の制札前まで測量して、その夜は明福寺へ宿泊しました。



忠敬の肖像(伊能忠敬記念館所蔵)▶

菰野藩では幕府測量方の忠敬一行を巡見使に準じて丁重に接遇して大庄屋久保幸助が宿の明福寺へ挨拶に来ています。また、近くの藤堂領、長島領、有馬領の大庄屋もご機嫌伺いに訪ねています。翌20日は宿野、福村、神田、森を測量して四日市に宿泊し、翌21日は菰野に戻り、潤田、音羽、千草を測量し、その夜は千草村庄屋辻常右衛門宅に宿泊しました。翌22日は竹成、小島、田光、切畑、田口、杉谷村の測量を終え宇賀、石

樽方面へ向かいました。

町長のひとり語

The Story of our Mayor



このように一概に予防接種と

いってもさまざまな効果があり、状況に応じたワクチン接種が必要です。また、手洗いやうがい、室温・湿度管理などの日常生活の中の対策はもちろん、それらの対策を学び自ら実践していく機会を設けることも重要です。これらを総合的に組み合わせ、医療機関等とも連携を図り、医学的根拠を踏まえた上で効果的な予防施策を展開していく必要があります。

今後さまざまな予防施策の研究を重ね、子どもの健康を守るため、限りある予算を効果的に配分していきたいと考えています。

Theme 06 各種予防施策について

※「大庄屋」村の自治などを行う村役人